

# 施策名：スマート・プランニングの高度化及び普及

国土交通省都市計画課  
03-5253-8411 mori-h8912@mlit.go.jp

分野

公共・社会基盤分野での未来技術の活用

総合戦略  
略該当  
箇所

横2-1-(2)-ix

予算  
額

令和3年度当初一般会計  
5,062百万円の内数

特徴・  
ポイント

- 国土交通省都市局では、スマートフォンやビッグデータ等から得られる行動データをもとに、施設配置や交通施策を検討する手法である「スマート・プランニング」の開発・普及を促進。
- モデル・システムの高度化、及び各自治体等への「スマート・プランニング」の更なる普及を推進。

目的

- これまででも、スマート・プランニングに関連するモデル等の構築・改良に取り組んできており、施策の評価についても検討してきた。
- 具体的な都市でのケーススタディも踏まえ、各種モデル等の更なる改良や連携に取り組む。
- 以上を通してスマート・プランニング活用の手引きの改定等実施し、より多くの自治体等が活用しやすいスマート・プランニングの確立を目指す。

概要

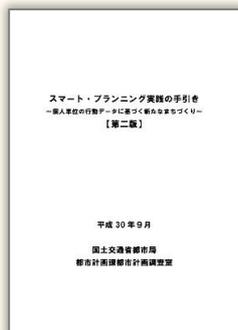
- スマートフォンやビッグデータ等から得られる行動データをもとに施設配置や交通施策を検討する「スマート・プランニング」の高度化、及び更なる普及を推進。

## <期待される効果>

スマート・プランニング活用の手引き等の改定等を通し、より多くの自治体等が活用しやすいスマート・プランニングの確立。

## <事業詳細>

モデル等の改良を通して、施設配置や交通施策の検討はもちろん、関連施策の評価まで適用可能なシステムの構築を目指し、より多くの自治体等でのスマート・プランニングの活用を推進。



<住民説明会での活用（松山市）>



<スマート・プランニング実践の手引き> <普及に向けたセミナーの実施>

▼国土交通省：スマート・プランニングの推進

[http://www.mlit.go.jp/toshi/tosiko/toshi\\_tosiko\\_fr\\_000023.html](http://www.mlit.go.jp/toshi/tosiko/toshi_tosiko_fr_000023.html)

## <事業活用の例>

### (1) 施設配置・空間形成

a. 施設配置



<志木市 高齢者交流サロン整備>

b. 公共空間の利活用



<岡山市 オープンカフェ>

c. 街並みの形成



<姫路市 駅前街並みの形成>

### (2) 交通施策

a. 歩行動線の形成



<神戸市 自転車交通分離>

b. バス停や駐車場の配置



<北九州市 路上駐輪施設>

c. 回遊交通の導入



<札幌市 路面電車ループ化>

詳細

## 回遊行動シミュレーションの実施例(岡山県岡山市)

### シミュレーションの実施結果(歩行者通行量の評価)

施策実施前は東西方向の明確な軸が無かったが、オープンカフェ実施エリアでは、通行者数が約6割増加し、さらに東西方向の通りで通行者数が2割増加するという結果となり、東西方向の通りが、歩行軸としての役割を担うことが確認された

